

Branhamella (Moraxella) catarrhalis の分離・鑑別用

「セロテック」ブランハメラ寒天生培地

Branhamella (Moraxella) catarrhalis (カタル球菌) はヒトの口腔・鼻腔・咽頭の粘膜に見出される正常細菌叢の一種で、近年肺炎レンサ球菌、インフルエンザ菌などと共に急性気管支炎・慢性気管支炎・肺炎・肺化膿症など、呼吸器感染症の日和見感染の主要起因菌として注目されています。

しかし、通常の血液寒天培地による培養では他の常在細菌によって発育が阻害され、またグラム染色の状態やコロニー形態がナイセリア属と類似しており鑑別が困難です。

ブランハメラ寒天生培地はナイセリア属・ストレプトコッカス属を初めとする他の口腔・鼻腔・咽頭常在細菌の発育を抑制し、*Branhamella catarrhalis*のみを選択的に分離・鑑別することが可能な生培地として開発しました。



*Branhamella
catarrhalis*
(臨床分離株)

(37℃、24時間培養)

■特 長

1. 喀痰から直接*Branhamella catarrhalis*の選択分離が可能な既製の生培地です。
2. *Branhamella catarrhalis*は本培地上で灰白色で、比較的硬い小形のコロニーを形成します。
3. 他の常在細菌(ナイセリア、ストレプトコッカスなどのグラム陽性球菌、真菌など)は抗生物質により発育を抑制されます。
4. 従来法より迅速・簡易に分離・同定ができます。

■培地組成 (培地1000m L分)

カゼインペプトン	15.0 g	アムホテリシンB	≥ 2m g
ソイペプトン	5.0 g	トリメトプリム	≥ 5m g
塩化ナトリウム	5.0 g	バンコマイシン	≤ 10m g
ヘモグロビン	10.0 g	寒天	15.0 g
アセタゾールアミド	≥ 10m g	p H 7.3 ± 0.2 (25°C)	

■使用法

新鮮な検体（喀痰、咽頭粘液など）を本培地に直接塗布し、35～37°Cで18～24時間好気培養します（培養時間は24時間以内として下さい）。

緑膿菌をはじめとするグラム陰性桿菌は、24時間以上の培養では本培地上に発育することがありますが、いずれも透明なコロニーを形成しますので、*Branhamella catarrhalis* と明確に区別できます。

■包装形態

製品コード	包装形態
CDR340-K1	10枚入
CDR340-K2	100枚入

■貯法および有効期間

貯法：遮光して2～10°Cに保存（凍結させないようにして下さい。）

有効期間：製造後7ヵ月（有効期限を外箱、シャーレに表示しています。）

■主要文献

土屋日登美 他：医学検査，43，12，1846，1994.



お問い合わせ先（企画開発室）
〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7
TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143
E-mail : kikaku@serotec.co.jp

